

# 農業会議通信



水田農業改革と中山間活性化はやる気と行動  
タイ国農業青年3名増田知事から激励  
新しい東北の水田農業改革の方向

優良農地の実のり

## 今月のひとこと

### 急げ、 「生産者から経営者へ」

去る、8月10日に国の「食料・農業・農村基本計画」見直しの中間論点整理が公表されました。日本の食料自給率を45%に引き上げるため、農地や担い手等の政策を方向付けるものです。特に支援施策の展開は明確化された担い手に集中することを強調しています。

このようなことから、本県農業を支えている各地の農家の皆さんは、認定農業者になることを基本としながら農業法人経営者や集落営農の経営者として自らの経営や地域農業の経営を充実強化する必要があります。「いわて農業者トップスクール」や各種研修会に進んで参加するとともに、様々な情報収集等に努めて、方向性や商品開発、決断能力等を養って農業だけで生活できる企業経営者になりましょう。

岩手県農業会議

会長 中野昌造

### 遊休地の解消は

#### 農業委員から

去る、7月29日から30日の2日間、葛巻町において、いわて地域農業再生運動現地研修会を各市町村の農業委員や委員会事務局員等約50名の参加のもと開催しました。

特に、葛巻町では農業委員会の業務を町民に広く周知するため、町の広報誌に農業委員会コーナーを設けたり、また、廃材を看板にリサイクルして3つの主要道に看板並木を設置して町民に宣伝しています。また、柳の生えた水田を地区担当の農業委員が把握して農業委員全員でボランティア復元をしてそば畑にするともに手づくり看板で、その旨、周知しています。その行動が所有者や近隣地主に好影響を及ぼしています。更には、豆まき1キロ運動を展開して、小面積の遊休地も解消しています。



### 水田農業改革と中山間活性化はやる気と行動

去る、8月4日は水沢市、8月18日は二戸市で、いわて農業者トップスクール（事務局 農業会議）の公開講座が開催されました。

水沢会場は約300名の参加のもと、「これからの水田農業の展開方向 地域として経営者として」と題して、東北大学農学部工藤昭彦教授の基調講演と岩手大学農学部木村伸男教授のコーディネートにより、「これからの水田農業をどう考えるか 売れる米づくりと多角化」をテーマにパネルディスカッションを行い新しい米づくりと販売戦略を検討しました。二戸会場は約200



名の参加のもと「中山間地域農業の展開の可能性」と題して茨城大学農学部柏雅之教授の基調講演と岩手大学農学部木村伸男教授のコーディネートにより、「中山間地域での農業振興と販売戦略」をテーマに、パネルディスカッションを行い全国的には恵まれた岩手県北の中山間地域農業の商品づくりや販売手段を検討しました。

いずれにしても国際競争の激化や消費者ニーズの安全・安心等の変化に対応した経営感覚が必要であり、経営者としての意識改革が迫られています。

### タイ国農業青年3名 増田知事から激励

去る、8月2日に岩手農業を学んでいるタイ国の農業青年が知事を表敬訪問しました。

農業会議が事務局を務める岩手県国際農友会が平成5年から受け入れているタイ国の農業研修生ですが、12年で延べ47名になりました。知事から「岩手の農業をしっかりと学んでタイの農業に活かして欲しいまた、受け入れ農家の皆さん長い間ご苦労様です。今後と

も続けてください」と挨拶がありました。

また、8月9日にはタイ国の農業協同組合省の副官房長官他10名が竹内副知事を表敬して農業研修受け入れのお礼をしました。竹内副知事から「岩手は農業も素晴らしいが食文化や自然もいいものが沢山あるので満喫してください」とお話がありました。



### 新任農業委員研修会開催 女性委員4名も参加 県内76名に

去る、8月3日に新任農業委員の研修会を開催しました。女性4名を含む約40名が参加しました。「今日における農業委員の役割と使命」と題して農業会議の佐々木由勝事務局長が「農業者の提言を行政に建議できる唯一の公的機関である。地区の状況を常に把握して行政とのパイプ役になることが大切である。」と期待の言葉を述べました。引き続き農地法や農振法、農業経営基盤強化促進法等の法律解釈をはじめ地域農業再生運動等の具体的な行動について研鑽を深めました。



### 新しい東北の水田農業改革の方向 東北地区稲作経営者 現地研究会岩手県大会

去る、7月22日から23日の2日間、花巻市で東北の稲作経営者等約180名が集い水田農業改革下における日本の米産地としての方向について意見交換を行いました。岩手県稲作経営者会議（事務局 農業会議）が主体となった現地研究会であり、本県の認定農業者や農業委員も多数参加しました。

基調講演は、「東北稲作、コメ政策改革にどう対応するか」と題して、岩手大学農学部副学部長で農学博士の木村伸男氏から、「地域の水田改革は農業者が主体的に創意工夫するべき。そ



のためには、経営者として、企業家として、そして情報収集者、組織者としての担い手になる」と元氣付けられました。また、次代を担う後継者による「東北稲作の未来を語る」では、各

## 質問コーナー

農業者年金の旧制度を解約した。新制度に加入したいが、国の支援制度の適用になるか。(盛岡市 M生)

回答

解約をされた場合でも新制度に加入できませんので手続きを取ってください。しかし、解約時に掛け金の返納をされた場合は、その時点で説明書きがあるように60歳までに20年以上の加入期間が見込めなければ政策支援は受けられません。詳しくは最寄りの農業委員会事務局、農業協同組合又は岩手県農業会議にお尋ねください。(熊谷主事)

次男が住宅を新築したいというので自分の所有する農業振興地域の農地を宅地にしたいが、その手続きを知りたい。(矢巾町 T生)

県のパネラーから売れるコメ作りについて多種多様な意見が出されましたが、コーディネーター役の木村教授から現実的なアドバイスがあり、参加者全員が認識を新たにすることが出来ました。

回答

農地法第4条による転用許可申請を所管農業委員会事務局で行い審査を受ける必要があります。所有地の立地条件等により審査の判断が異なりますので、予め農業委員会事務局に相談してください。(菅原調査役)

回答

現在は製造業でサラリーマンをしている。近い将来、岩手県で農業経営者になりたいので、その手順を教えてください。(神奈川県 S生)

意気込みは伝わってきますが、資金力や技術レベル、経営内容等の把握も必要ですので、まず、岩手県新規就農相談センター(岩手県農業公社・岩手県農業会議)に相談してください。(藤平主事)

質問・意見をお待ちしています。  
E-mail: info@iwate-ca.or.jp

# 10月～12月 農業会議の主な行事

- |        |                                             |        |                                  |
|--------|---------------------------------------------|--------|----------------------------------|
| 10月12日 | 第289回常任会議員会議<br>(盛岡市 エスポワールいわて)             | 11月24日 | いわて農業者トップスクール公開講座<br>(盛岡市 県民会館)  |
| 10月19日 | 地域マネージャー等レベルアップ講座「第4回講座」<br>(盛岡市 エスポワールいわて) | 11月29日 | 岩手県農業会議50周年記念式典<br>(盛岡市 ニューウイング) |
| 10月28日 | いわて農業者トップスクール第5回講義(盛岡市 岩大)                  | 12月8日  | いわて農業者トップスクール発表会<br>(盛岡市 岩大)     |
| 11月2日  | 第49回岩手県農業委員大会<br>(盛岡市 市民文化ホール)              | 12月10日 | 第291回常任会議員会議<br>(盛岡市 エスポワールいわて)  |
| 11月10日 | 第290回常任会議員会議<br>(盛岡市 エスポワールいわて)             | 12月16日 | 岩手県女性農業委員連絡協議会総会・研修会             |

編集・発行人/事務局長・佐々木由勝 〒020 0024

盛岡市菜園一丁目4番10号第二産業会館4階 電話〇一九 六二六

八五四五 印刷/川口印刷工業株式会社

## トピックス

認定農業者、農業者が今泉農林水産部長と懇談

この夏、地域の農業を背負っている認定農業者と農業法人の代表が相次いで農林水産部長に農業経営の現状や農村の課題を報告して、今泉部長の基本的な考え方を聞き取るなど岩手農業の将来像を語り合いました。

### 吉田一夫氏春の叙勲

農業会議元副会長の吉田さん(盛岡市)が旭日単光章を受賞されました。長年の農業委員会系統組織活動の功績が認められたものです。おめでとうございます。

スタンブラリーキャラバン隊が盛岡市「よ市」から出発

県グリーンツーリズム推進協議会(事務局 農業会議)は都市と農村の交流を実のりの収穫や食文化、地域イベント等で盛んにするため8月から10月まで全県でスタンブラリーを開催しています。その宣伝活動にキャラバン隊の出

発式を8月21日に材木町のよ市を会場に行いました。40日かけて県下を巡回します。



近々、「いわて農業法人ビジネススクール」を開校

この秋の開校を目指して準備をしています。岩手県農業法人協会(事務局 農業会議)は岩手大学農学部と連携をして県内の農業法人の経営能力をより強化するために5、6回講座で自らの経営内容を分析しながら企業化能力を高める研修を行います。入校をお待ちしています。

## 編集後記

農業だけで生活する経営者の老後の生活を保障する農業者年金への加入を進めています。将来の計画がしっかり出来るので安心です。

農業委員会系統組織が政策要望を重ねた「食料・農業・農村基本計画」見直しの中間論点整理が公表されました。17年から具体的な取り組みが期待されますが政策対象の担い手への集中、経営安定対策の導入、農地制度のあり方と効率利用、農業環境と資源の保全がポイントです。食料の自給率確保対策は国民の理解と農業サイドの意識改革と行動力が大切だと考えます。

変化の激しい農業状態です。全国農業新聞や全国農業図書を活用して機敏に対応しましょう。各農業委員会で斡旋しています。

大豊作の秋を迎えています。日々の明るいムードを農村で味わう余裕が欲しいものです。生産調整や価格対策で日本の実りの秋を壊して欲しくないものです。

グリーンツーリズムのキャラバン隊が材木町よ市会場から出発しました。民間発想の第1号です。県庁前イベントからの発展的転換は大きな成果が期待されます。

多忙な業務の間に戦後50年間の重みをしつくり感じながら記念誌の原稿準備をしている職員諸君です。先人の偉大さを改めて感じています。(由)